# **TEKLYNX® CODESOFT**<sup>®</sup>



チュートリアル



DOC-OEMCS2014-UG-JA-01/11/13

このガイドに含まれる情報は、契約の性質を有するものではなく、事前の予告なしに変更される可能性があります。

このガイドに記載されるソフトウェアは、ライセンス契約のもとで販売されます。ソフトウェアは、契約の条件に従う場合のみ、使用、コピーまたは複製することができます。

このガイドのいかなる部分も、Teklynx Newco SAS から書面での許可を受けずに、購入 者の個人的な使用以外の目的で、いかなる形式や手段においても、複写、複製または送信 することはできません。

©2014 Teklynx Newco SAS,

All rights reserved.

本マニュアルについて	1
表記に関する原則	1
製品について	1
イントロダクション	3
はじめに	3
製品の説明	3
システム要件	4
インストール	4
ライセンスのアクティベーション	5
プログラムの起動	12
ユーザーインターフェース	13
メインウィンドウの説明	13
メニューバー	13
ワークスペース	13
ドキュメント	14
ステータスバー	14
標準ツールバー	14
タイトルバー	14
文字書式ツールバー	14
オブジェクトツールバー	15
表示ツールバー	15
作成ツールバー	16
データソースビューとオブジェクトビュー	16
ルーラー	17
回転ボタン	
カラーパレット	19

作業環境の設定	21
プリンターの選択	
プリンターの追加	
作業環境のカスタマイズ	
作業フォルダーの定義	
ドキュメントのページ設定	
固定オブジェクトを使用したドキュメントの作成	35
固定オブジェクトの作成と操作	
テキストオブジェクトの作成	
バーコードオブジェクトの作成	
図形オブジェクトの作成	
イメージの挿入	
変数オブジェクトを使用したドキュメントの作成	41
データソースについて	
データソースの作成	
データベース データソース	
テーブル参照 データソース	
日付データソース	
カウンター データソース	
数式データソース	
IF ファンクションに関する情報	
フォーム データソース	
自由データソース	
変数オブジェクトの作成	
印刷	65
強力な印刷エンジン	
ドキュメントの印刷	
シリーズでのラベル	
各ラベルのコピー	
各ページのコピー	
まとめ	71
トラブルシューティング	
注意事項	75

式の規約	
予約語	
予約語	

# 本マニュアルについて

## 表記に関する原則

本マニュアルは、以下の原則を用いて、さまざまなタイプの情報を区別してい ます。

- コマンドなど、インターフェース自体の用語は、太字で表記します。
- キーボードのキーは細字の大文字を四角で囲んで表記します。
   例:「SHIFT キーを押してください。」
- 番号のついたリストは、実行する手順があることを示します。
- 接続詞「または」が段落の隣に表示された場合、特定のタスクを実行 する別の手順があることを表します。
- メニューコマンドにサブメニューが含まれる場合、選択するメニュー名と、それに続くコマンドが太字で表記されます。
   したがって、「ファイル > 開くを選択」の場合、ファイルメニューを選び、
   開くコマンドを選択します。

#### 製品について

このマニュアルは、特定の製品について記載されたものではなく、製品間で共 通の概念について説明しています。従って、記載されている一部の機能は、 製品によってはご利用いただけない場合があります。

購入されたソフトウェアで利用できる機能については、製品のオンラインヘル プやカタログをご覧ください。

# イントロダクション

# はじめに

このたびは、最先端のラベルデザインアプリケーションをお買い上げいただき、 誠にありがとうございます。

このラベルデザインアプリケーションを使用すると、複雑なラベルをすばやく作成し、編集することができます。

このアプリケーションはすべての自動識別ニーズを満たし、生産プロセスにシ ームレスに適合します。

本製品は、現在の市場において、複雑なバーコードのデータ入力、収集、編 集をリアルタイムで行うすべての企業に、最も使いやすい、直感的に操作でき るソリューションを提供します。

## 製品の説明

本製品に含まれるものは、以下のとおりです。

- インストール用 DVD
- ドキュメンテーション(ユーザーガイド、チュートリアル、データベースマネージャー ユーザーマニュアル)
- ライセンス契約と登録カード
- プロテクトキー:ソフトウェアキー(アクティベーションコード)またはハー ドキー(ドングル)

注意: ReleaseUS.htm ファイルには、ソフトウェアに関する最新情報が含ま れます。この情報は、本マニュアルの情報よりも優先されます。

#### システム要件

アプリケーションを実行するために必要な、ソフトウェアとハードウェアの基本 的な要件は、Windows<sup>®</sup>で実行する多くのアプリケーションと同様です。

- 以下の 32 ビットまたは 64 ビットの Windows オペレーティングシステム: XP、Vista、7、または 8,8.1
- 1 GB 以上の RAM
- 500 MB 以上のハードディスク空き容量(インストールオプションによる)
- 2 GHz 以上の CPU
- DirectX 9 以上に対応したビデオカード
- コンピューターの管理者権限のアカウント
- インターネットへの接続環境もしくは専用の USB ポート

注意:互換性の問題が発生する可能性がありますので、このラベルデザイン ソフトウェアの旧バージョンがシステムにインストールされている場合は、すべ てアンインストールしてください。

インストール

**注意**:このソフトウェアをインストールする前に現在作業中のデータを保存し、 他のプログラムをすべて閉じてください。

インストールプログラムを実行する前に、ご利用のパソコンの構成をチェックします。

 インストール用 DVD を正しいドライブに挿入してください。インストール ウィンドウが表示されます。

この DVD が自動的に起動しない場合:

- スタート > 実行を選択し、DVDドライブの文字を入力し、その後 ファイ ル名 index.hta を入力します(例えば、D:\index.hta)。
- 3. インストールしたい製品を選択し、インストール ボタンをクリックして、画面に表示される指示に従って、進めます。

ソフトウェアのインストール

インストールプロセスを実行する前に、管理者権限をお持ちかどうかをご確認 ください。

インストールしたいプログラム機能を選択し、**次へ** をクリックしてく ださい。

(通常はすべてを選択してインストールしてください。)

🕼 InstallShield Wizard	
カスタム セットアップ インストールするプログラムの機能を選択してください。	CS (M)
下のリストにあるアイコンをクリックして、機能のインストール方法	まを変更してください。 機能の説明 CODESCR10 この機能をインストールするには、 66MB が必要です。5 / 5 のサブ 機能が選択されています。サブ機 能には、270MB が必要です。
インストール先: C:¥Program Files¥Teklynx¥CODCSOFT P¥	
Instalibnied ヘルプ( <u>H</u> ) ディスク( <u>U</u> ) < 戻る( <u>B</u> )	) 次へ(N) > キャンセル

## ライセンスのアクティベーション

このソフトウェアは、ソフトウェアキー(アクティベーションコード)またはハード ウェアキー(ドングル)を使用して動作させることができます。

ドングルとは、ソフトウェアを起動する前に、ご利用のパソコンのパラレルポートまたは USB ポートに差し込む小さな電子デバイスです。ハードウェアキーが必要なバージョンであるにもかかわらず、それが取り付けられていない場合は、プログラムは「評価」モードで実行されます。この場合、ラベルを保存および印刷することができません。

ソフトウェアキーとは、初めてソフトウェアを起動する時や、トライアルバージョ ンを実行している場合に、アクティベーションウィザードにより求められるアク ティベーションコードです。トライアルソフトウェアキーを利用している場合は、 製品のすべての機能を 30 日間、または起動回数 100 回までご利用いただ けます。

**注意**:アプリケーションを開始する時にプロテクトキーが製品バージョンと一致 しない場合は、必要な手順を説明するダイアログボックスが表示されます。

まず、ラベルデザインソフトウェアのインストールを実行し、その後、プロテクト キーをコンピューターで有効化または接続してください。

ハードウェアキープロテクション

ドングルを含むソフトウェアを購入された場合は、USB ポート用のドングルが 付属されます。

USB キーの接続:

複数の USB ポートがある場合、どのポートを使用されても構いません。空い ている USB ポートがない場合、 USB 拡張ハブをご利用いただけます。 USB デバイスはホットスワップ可能です。つまり、パソコンを再起動しないで、 いつでもバスに差し込んだり、外したりできます。



注意:ドライバーは、アプリケーションを実行中にインストールできます。しかし、 変更を認識させるために、ラベルデザインソフトウェアを再起動する必要があ ります。 注意:USB ハードウェアキーは、Windows 95 および Windows NT4 のオペレーティングシステムに対応していません。

ドライバーキーの手動インストール

ドライバーキーを手動でインストールしたい場合は、以下の操作を行います。

- 1. スタートをクリックし、ファイル名を指定して実行をクリックします。
- 2. 以下のコマンドを入力して Enter キーを押下してください。

・Windows 7 または 8, 8.1 の 64 ビット版の場合: C:\program files (x86)\Teklynx\CODESOFT2012\Tools\Dongle\ HaspDinst.exe –i

•32 ビット版の場合:

C:\program files\Teklynx\CODESOFT2012\Tools\Dongle\ HaspDinst.exe –i

**注意**:ドライバーをインストールする前に、ラベルデザインソフトウェアと他のア プリケーションを閉じるようにお願いいたします。

ソフトウェア起動時のエラーメッセージ

ソフトウェアを起動した時にエラーメッセージが表示され、入力を促された場合、 以下の項目をチェックしてください。

- 管理権限・・・キーのインストールを適切に行うために、パソコンのローカル管理権限が必要です。この権限をお持ちではない場合は、ソフトウェアを起動した時にエラーメッセージが表示されます。この場合、ドライバーを手動でインストールしなければなりません。
- ドライバーのインストール・・・・インストール中、問題が発生した場合、あるいはソフトウェアを起動した時にエラーメッセージが表示された場合は、手動でドライバーをインストールする必要があります。
- キー…接続されたキーが、ラベルデザインソフトウェアで機能している ことをチェックしてください。
- ドライバーアップデート…ドライバーが更新されていない可能性があります。更新を行うには、

<u>http://www.aladdin.com/support/hasp/enduser.aspx</u> からダウンロードしてください。

#### ソフトウェアキープロテクション

ラベルデザインソフトウェアをインストールしたら、**アクティベーションウィザー** ドが起動し、ソフトウェアキーのプロテクトプロセスを開始します。

ソフトウェアキーのアクティベーション:

**アクティベーションウィザード**において、アクティベートを選択し、次へをクリッ クしてください。アクティベーションを実行するには、以下の4つの方法があり ます:オンラインでのアクティベーション、USBキーを使用してアクティベーシ ョン、スマートフォンを使用してアクティベーション、Webサイトを使用してアク ティベーション。

**注意**:ソフトウェアをインストールしたコンピューターがインターネットに接続している場合、[オンラインでのアクティベーション]が自動的に選択されます。

• オンラインでのアクティベーション

いくつかのネットワークはプロキシサーバーにより保護されている場合があり ます。この場合は、IP アドレスを入力してインターネットに接続できるようにす る追加のステップがあります。

- 1. オンラインでのアクティベーション を選択します。
- 2. 製品に付属するシリアル番号とパスワードを入力し、次へ をクリックしま す。
- 3. ユーザー登録 フォームに情報を入力し、次へ をクリックします。
- 4. 終了をクリックします。

注意:ソフトウェアをインストールしたコンピューターがインターネットに接続し ていない場合で、インターネットに接続している他のコンピューターを利用でき る場合には、[USB キーを使用]をクリックしてアクティベーションを実行するこ とができます。

- USB キーを使用してアクティベーション
  - 製品に付属する「シリアル番号」と「パスワード」を入力し、次へ をクリックします。
  - 2. USB キーを使用 を選択します。
  - アクティベーションに使用する外部記憶メディア(USB キーまたは外付け ハードディスクなど)を選択し、次へ をクリックします。アクティベーション のためのファイルが選択したメディアにコピーされます。
  - 4. メディアを取り外します。
  - 5. インターネットに接続されている別のコンピューターにメディアを接続しま す。
  - 6. USBWizard.exe を実行します(このファイルはメディアのルートに存在 します)。ウィザードが開始されます。
  - 7. アクティベートするライセンスを選択し、次へ をクリックします。
  - ユーザー登録 フォームに情報を入力し、次へ をクリックします。
     選択されたライセンスをアクティベートするための情報が正しく取得されたことを通知するメッセージが表示されます。
  - 9. このコンピューターからメディアを取り外します。
  - 10. ソフトウェアをインストールしたコンピューターにメディアを接続し、再び USBWizard.exe を実行します(このファイルはメディアのルート上に存 在します)。

- ウィザードには、ソフトウェアがインストールされているコンピューターでア
   クティベートできるライセンス情報が表示されます。
- 12. 次へをクリックします。

13. 終了をクリックします。

**注意**:インターネットへの接続環境がない場合には、スマートフォンを使用して 製品をアクティベートすることができます。

• **スマートフォンを使用**してアクティベーション

スマートフォンを使用してソフトウェアをアクティベートするためには、バーコー ドを読み取るためのバーコードスキャナアプリケーションが必要です。バーコ ードスキャナアプリケーションはアプリケーションストア/マーケットからダウン ロードできます。このアクティベーションモードでは、スマートフォンのインター ネット接続を使用します。

- 製品に付属する「シリアル番号」と「パスワード」を入力し、次へをクリックします。
- 2. スマートフォンを使用 を選択します。
- 3. ユーザー登録 フォームに情報を入力し、次へ をクリックします。
- バーコードが表示されます。カーソルをバーコード上に移動して、ズーム
   インします。
- 5. スマートフォンでバーコードスキャナアプリケーションを起動します。
- 6. スマートフォンでバーコードを読み取ります。
- 7. 続行 をクリックするか、スマートフォンでブラウザを開きます。
- ソフトウェアアクティベーションの Web サイトが表示されます。この Web サイトから、ソフトウェアを登録し、アクティベートできます。すべてのフィ ールドに入力する必要があります。

- 9. Submit をクリックします。
- 10. Web サイトページの下部に「検証コード」と「インストールコード」が表示されます。必要があれば下スクロールしてください。
- 11. 「検証コード」と「インストールコード」をウィザードに入力します。 (大文字で入力してください。)
- 12. 次へをクリックします。
- 13. 終了 をクリックします。
- Web サイトを使用してアクティベーション
  - 製品に付属する「シリアル番号」と「パスワード」を入力し、次へをクリックします。
  - 2. Web サイトを使用 を選択します。
  - 3. 製品に付属する「シリアル番号」と「パスワード」を入力し、次へ をクリックします。
  - この画面のリンク(http://www.teklunx.eu/nsp/)には、インターネットアク セスを使用して、異なるコンピューターからアクセスできます。インターネ ット接続を使用できる任意のユーザーがこの Web サイトに接続してアク ティベーションを完了することができます。このサービスを利用するため には「シリアル番号」と「パスワード」、および「ユーザーコード(ウィザード に表示されます)」が必要です。
  - 5. Web サイトに表示されるユーザー登録 フォームに情報を入力し、次へ をクリックします。
  - 6. Submit をクリックします。
  - 7. 「検証コード」と「インストールコード」が、Web サイトに表示されます。
  - 8. 「検証コード」と「インストールコード」をウィザードに入力します。 (大文字で入力してください。)

- 9. **次へ** をクリックします。
- 10. 終了 をクリックします。

# プログラムの起動

- 1. **スタート > プログラム**を選択します。
- インストールした時に指定したプログラムグループ名を選択します(デフ ォルトでは、アプリケーションの名前が設定されます)。

メインウィンドウが画面に表示されます。

ユーザーインターフェース

# メインウィンドウの説明

本セクションでは、ワークセッションの最初に、メインウィンドウに表示される主なインターフェース要素の概要を説明します。

## メニューバー

メニューバーにはファイル、編集、表示、オブジェクト、データソース、ツール、 ウィンドウおよび ヘルプが含まれています。

#### メニューを開くには

- 1. マウスの左ボタンでメニューをクリックします。
- 2. 次に必要なコマンドを選択します。

注意:キーボードを用いて、コマンドにアクセスするには、キーボードショートカットを使用します。ALT キーを押したまま、メニュー名またはコマンド名の下線 付きの文字キーを押してください。

#### ワークスペース

ワークスペースは、ルーラーとスクロールバーの間に位置している、ウィンド ウの中央部分です。それは、ドキュメントの物理的な境界を設定するフレーム や、印刷するオブジェクト、印刷する必要がないコメントやオブジェクトを挿入 する、印刷不要エリアが含まれます。 ドキュメント

新しいセッションを開くと、プログラムでは、ウィンドウの上部左端にフレームを 表示します。このフレームは、印刷するドキュメントの物理的な境界を表しま す。オブジェクトをこのフレーム内に配置し、ドキュメントを作成します。

#### ステータスバー

ウィンドウの下部にあるステータスバーには、選択されたプリンターの名前、 接続されている通信ポート、マウスポインターの x y 座標、または選択された オブジェクトの位置座標とサイズが表示されます。

My Drinter	\\Aucd0083\IPT1	v v: 12 33 60 53	OV OP
nyrnnei	//Aucuous/LFTT	x,y, 12,35,05,35	cc, cy.

標準ツールバー

これらのツールバーを使用すると、メニューを使用するより速く、ルーチンを実行することができます。

🕲 🗠 ल 🔊 🗗 🤞 🖶 🖶 🗞 🕼 🖳 ल ल 🔘

#### ツールを選択するには

ツールに対応するボタンをクリックします。

タイトルバー

タイトルバーは、ソフトウェアの名前と現在のドキュメントの名前、または新し いドキュメントが作成された場合"Document*no*"を表示します。マウスを使用 して、ウィンドウを移動することができます。

文字書式ツールバー

このツールバーを使用して、テキストまたは段落のフォーマット、すなわちフォント、文字サイズ、スタイルオプション、テキストの折り返しなどを変更できます。

🖺 @Arial Unicode MS 🔹 10 🔹 🖪 🖌 💆 🗐 🧮 🚍 🚍

書式を変更するには

- 1. ドキュメントのオブジェクトを選択します。
- 2. 必要とされるオプションをクリックします。

注意:これらのオプションはすべて、文字 プロパティのダイアログボックスでも アクセスできます。

オブジェクトツールバー

オブジェクトツールバーは、選択されたオブジェクトの名前を表示し、そのプロ パティにアクセスすることができます。



表示ツールバー

**表示**ツールバーは、多くの表示オプションを提供します。 表示モードを変更するには、必要な表示モードをクリックします。

ボタン	ツール名	用途
2	変数名	変数の名前を表示します。
XX	サイズ	変数の最大サイズを表示します。
12	変数値	変数の値を表示します。
	フォーム	フォームを表示します。
	ビュー	データソースとオブジェクトを表示します。
୍ ୍	ズーム	オブジェクトの内容を拡大または縮小できます。

注意:これらのすべてのオプションは、表示メニューからアクセスすることもで きます。 作成ツールバー

作成ツールバーは、多くのボタンから構成されています。それぞれのボタンは、 オブジェクトの作成および操作を行うツールとなります。

ボタン	ツール名	用途
<b>K</b>	選択ツール	操作対象のオブジェクトを選択します。
T-	テキスト	固定または変数テキストを作成します。
<b>     </b>  -	バーコード	固定または変数バーコードを作成します。
		ウィザードを用いて GS1, HIBC および
		Maxicode を作成します。
<u>~</u> ~	イメージ	固定のイメージを挿入します。
015	外部オブジェクト	外部オブジェクトを挿入します。例えば、表計
		算プログラムの表などを挿入します。
<b>I</b> -	線分	水平または垂直ラインを描きます。
	矩形	長方形または正方形を描きます。
0	円/楕円	円または楕円を描きます。
G	ポリゴン	多角形を描きます。
/	斜線	斜線を描きます。
	R 付き矩形	角が丸い矩形を描きます。
D)	図形オブジェクト	すぐに使える図形をドキュメントに挿入します。
<u>s</u>	プラグイン	TextArt、ListFields、GridFields, OCXFields および
		RichText フィールドを作成します。

# データソースビューとオブジェクトビュー

**データソースビュー**は、データソースと、作成されている変数、およびそれらの 数を表示します。変数オブジェクトは、ドラッグ&ドロップするだけで、ドキュメ ントに挿入することができます。コンテキストメニューを使用すると、変数プロ パティの追加、削除、変更を行うこともできます。 オブジェクトビューは、作成されたオブジェクトを種類ごとに表示します。このタ ブを使用して、オブジェクトを選択したり、位置を変更したりすることができま す。



キーボードの上下矢印キー①、↓を使用すると、オブジェクトツリーを上下に 移動することができます。左右矢印キー←、→を使用すると、リストを展開・ 折り畳むことができ、各データソースに関連する変数リストや各カテゴリーに ついて利用できるオブジェクトのリストを表示します。

データソースについて

データソースには、同じソースのデータを与えられる変数のリストが含まれます。

データソースを選択すると、必要なデータが存在する場所や、データの種類を 知ることができます。データは、内部で生成されるデータ(日付、カウンター) と、アプリケーションに外部から指定するデータ(データベース、フォームを使 用した直接データ入力)があります。

データソース表示で利用できる、さまざまなデータソースは以下のとおりです。 データベース、日付、数式、フォーム、テーブル参照、カウンターおよび自由。

ルーラー

ルーラーを使用すると、マウスの位置を表示し、さまざまなオブジェクトをドキ ュメントに正確に配置することができます。 **ツール > オプション> 表示** コマンド を使用して、インチまたはミリメートルのいずれかの単位で設定できます。

- 水平ルーラーの左半分をダブルクリックすると、表示スケールを縮小します。
- 水平ルーラーの右半分をダブルクリックすると、表示スケールを拡大します。
- 水平ルーラーを右クリックすると、ズームコンテキストメニューを表示します。
- 垂直ルーラーをダブルクリックすると、グリッド設定ダイアログボックス を表示します。
- 垂直ルーラーを右クリックすると、回転コンテキストメニューを表示します。

回転ボタン

ドキュメントの上部左端にある 🏾 をクリックすると、画面のドキュメントを 90°、 180°、270°または 360°回転させることができます。画面の回転は単なる表示 機能であり、印刷に影響を与えません。

ドキュメントを回転するには

- マウスの左ボタンで A をクリックすると、ドキュメントを左に 90°回転 できます。
- マウスの右ボタンで A をクリックすると、ドキュメントを右に 90°回転 できます。

**注意:表示 > 回転** コマンドを使用するか、または垂直ルーラーをマウスの右 ボタンでクリックし、コンテキストメニューを使用すると、同じドキュメントの回転 効果が得られます。

#### カラーパレット

カラーパレットは、ワークスペースの下部に表示されます。これを使用すると、 ドキュメント内のオブジェクト(テキスト、バーコード、図形など)の色を変更す ることができます。

#### オブジェクトの色を変更するには

- 1. 色を変更したいオブジェクトを選択します。
- マウスの左ボタンで、パレットの色をクリックすると、テキスト、線分または
   図形の前面色を変更できます。
- 3. マウスの右ボタンで、パレットの色をクリックすると、背景色を変更できま す。

**注意:**×ボタンを使用すると、オブジェクトから背景色を削除することができます。

オブジェクトのプロパティダイアログボックスを使用して、色を変更することもで きます。

- オブジェクトをダブルクリックします。プロパティのダイアログボックスが 画面に表示されます。
- 2. 文字 タブで色を選択します(前景または背景)。

# 作業環境の設定

ドキュメントの作成を開始する前に、まず作業環境を設定する必要があります。

**最初のステップ**は、ラベルを印刷するプリンターを選択します。すべてのプリ ンターが同じ機能を備えているわけではありませんので、選択されたプリンタ ーのモデルによって、利用できるオプションが異なります。

**次のステップ**は、作業環境のオプションを選択します。例えば、インターフェース言語、単位などです。利用できるすべてのオプションについては、本章で後 ほど見ていきます。

**最後のステップ**は、ドキュメントのページ設定です。例えば、ドキュメントのサ イズ、方向、マージンなどを定義します。

ラベルデザインソフトウェアを使用すると、さまざまなプリンター、ソフトウェア で提供されるドライバーで印刷することができます。また会社のネットワーク やご利用の PC のローカルにインストールされた Windows プリンターで印刷 することもできます。

ドキュメントを作成し始める前に、プリンターを選択する必要があります。これ は、プリンターの選択により、ページ設定オプションや、さまざまな文字フォン トの利用などが影響されるからです。

#### プリンターの選択

プリンターの選択ダイアログボックスは、以下の方法でアクセスできます。

コマンド: ファイル > プリンター選択

または

🔯 ボタンをクリックします。

または

F5 キーを押します。

プリンターは、ドキュメントを作成する前に選択する必要があります。プリンタ ーの選択は、ページ設定オプション、さまざまなフォントの使用などに影響を 与えます。

Windows ドライバーとネイティブドライバー:

ラベルデザインソフトウェアは、広範囲の産業用バーコードプリンターで使用 意できます。このための専用のドライバー(ネイティブドライバー)を搭載して います。また、ローカルの PC やネットワーク上にインストールされた任意の Windows プリンターにも印刷することができます。

Windows プリンターとは、オペレーティングシステムにインストールされている、すべてのプリンターを表します。一般的に、オフィスのプリンター、レーザ ープリンターなどがあります。印刷ジョブは、Windows スプーラ(ジョブキュ ー)に送信されます。

ネイティブドライバーは、ラベルデザインソフトウェアで提供されます。これらの プリンターによる印刷は、ソフトウェアで直接管理されます。

#### プリンターを選択するには

ファイル > プリンター選択...
 または
 ボタンをクリックします。

または F5キーを押下します。

- 2. リストからプリンターを選択します。
- 3. OK ボタンをクリックします。

注意:アプリケーションで提供されるドライバーは、
ジアイコンで識別できます。

プリンターの追加

ファイル > プリンター選択 コマンドを選択し、追加ボタンをクリックすると、プリンター追加 ダイアログボックスにアクセスできます。

このダイアログボックスを使用すると、ソフトウェアで提供されているプリンタードライバーを追加することができます。

注意:Windows プリンターを追加するには、オペレーティングシステムのコン トロールパネルを使用しなければなりません。

#### プリンターを追加するには

1. ファイル > プリンター

F5 キーを押下します。

- 2. 追加 ボタンをクリックします。
- 3. **モデル** リストにおいて、メーカーグループまたはプリンターのモデルを選 択します。
- 出カポート(シリアル、パラレルまたはファイル)を選択し、OK ボタンをク リックします。

注意:プリンターのメーカーグループの隣にあるプラス記号 (+) をクリックする と、さまざまなモデルを表示できます。

注意:数多くのメーカーの様々なモデルのプリンターを追加することができま すが、既に製造/販売が終了しているモデルやメーカーがサポートを終了し ているプリンターも含まれています。それらは過去に作成したラベルファイル との互換性を保つ為だけに残っています。現在、サポートしているプリンター は弊社の Web サイトでご確認ください。

#### 各種ポート:

ポート名	用途
COMx	シリアル通信ポートを指定します。プリンターを接続するシリ
	アルポート番号を選択します。
LPTx	パラレル通信ポートを指定します。プリンターを接続するパラ
	レルポート番号を選択します。
File	ファイルに出力する場合は、ファイルを選択します。

#### (例)LPT1 で Zebra 140 を追加

- 1. ファイル > プリンター選択を選択します。
- 2. 追加 ボタンをクリックします。
- 3. モデル リストにおいて、Zebra グループを選択します。
- 4. 左側のプラス記号(+)をクリックしてモデルを展開し、Zebra 140を選択し ます。
- 5. LPT1 ポートを選択し、**直接制御** のチェックを外し、OK ボタンをクリック します。

#### 作業環境のカスタマイズ

本製品には、作業環境をカスタマイズする多くのオプションがあります。

オプションでは、インターフェース言語、単位、ダイアログボックスの表示フォ ント、作業フォルダー、通貨換算レートを変更することができます。

#### インターフェース言語の変更

ユーザーインターフェースはさまざまな言語でご利用いただけ、簡単に変更す ることができます。(日本語版で使用できる言語は日本語と英語のみです。)

#### インターフェース言語を変更するには

- 1. ツール > オプションを選択します。
- 2. 表示 タブをクリックします。

オプション		X
	🔩 表示	
ドキュメント	▶ 移動中のオブジェクトを表示する	
表示	▼ アニメーション効果を有効にする 言語設定 英語 日本語 日本語 日本語	■ 単位 ① ミリォートル
		C インチ - 素テフ+) 小
既定値のフォル ダー		MS UI Gothic
グリッド設定		
(ع) الم		
		OK キャンセル ヘルプ(出)

- 3. 言語設定リストから希望する言語を選択します。
- 4. OK ボタンをクリックします。

注意: OK ボタンをクリックすると、すべてのメニュー、コマンド、画面のメッセ ージが選択された言語で表示されます。(オンラインヘルプや、開く、名前を付 けて保存 などの Windows ダイアログボックスを除く)

#### 表示オプションと作業環境の変更

インターフェース言語、単位、ダイアログボックスの表示フォントを変更できま す。これらの選択は、**表示** タブを使用して行います。

**表示** タブにアクセスするには、ツール > オプション を選択します。

#### 測定単位の選択

単位は、ミリメートルまたはインチを使用できます。単位の選択は、ルーラー の目盛りを変更します。

#### 測定単位を選択するには

- 1. ツール > オプション を選択します。
- 2. 表示 タブを選択します。
- 3. 単位を選択します。
- 4. OK ボタンをクリックします。

ダイアログボックスの表示フォントを変更するには

- 1. ツール > オプション を選択します。
- 2. 表示 タブをクリックします。
- 3. 表示フォントフィールドにおいて、 ボタンをクリックします。
- 4. フォントを選択します。
- 5. OK ボタンを選択します。

グリッドスケールを変更するには

オブジェクトの整列に使用されるグリッドスケールは、変更または無効にすることができます。

- 1. ツール > オプション を選択します。
- 2. **グリッド設定** タブをクリックします。

または

垂直ルーラーをダブルクリックして、**グリッド設定** タブに直接アクセスします。

オプション		×
🛛 💊 🖻	グリッド設定 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
表示		
	○ 無し	
一時定値のフォル	○ 0.5 ミリ	
ダー		
<b>2</b>	C 2 & U	
グリッド設定	○ 2.5 ミリ	
<b>A</b>	○ 5 ミリ	
CORI	○ ユーザー定義	
Flauh3	☑ 表示	
3		
📃 その他 🗾		
		Э

- 3. 必要なグリッドスケールを選択します。
- 4. OK ボタンをクリックします。

注意:グリッドスケールで使用される単位は、表示タブで定義できます。

#### 換算レートを定義するには

ユーロへの変換レートボックスで定義される換算レートは、eurotocurrency および currencytoeuroの式で使用されます。

1. **ツール > オプション**を選択します。
2. その他のタブをクリックします。

オプション ▲	その他	
印刷	設定モード	<u>→般</u>
その他	ラベル色	
4	ルーラー背景色	
ウィザード	ユーロへの変換レート	6.55957
製品モード	最近使ったファイルの数 ファイル競合のタイムアウト値(ms)	5000
	GS1 を標準で使う	
1	0	K キャンセル ヘルプ(H)

3. ユーロへの変換レート ボックスに換算レートを入力します。

**注意**: デフォルトの換算レートは、フランス・フランとユーロ間のレートとなります。

# 作業フォルダーの定義

ソフトウェアを起動した後、はじめて**開く**や名前を付けて保存 ダイアログボックスを開くと、マイドキュメント フォルダーがデフォルトの作業フォルダーとして 選択されます。

1. ツール > オプション を選択し、規定値のフォルダー タブを選択します。

オプション		×							
	既定値のフォルダー								
ドキュメント	下のグリッドをクリックして、既定のフォルダーを変更してください。								
<b>%</b>	ファイルの種類	RZ							
表示	ドキュメント(*.LAB)	ents¥Teklynx¥CODESOFT 9¥Samples¥Labels							
	イメージ(*.BMP, *.PCX)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
	クエリー(*.CSQ)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
明定値のフォル	ディスクライバー(*.DSC)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
ダー	印刷ファイル(*.TXT)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
	共有データソース (*.FRE *.FOM:	C:¥ProgramData¥Teklynx¥CODESOFT 9¥Globva							
	ユーザー定義ファイル(USERINI)	C:¥ProgramData¥Tek.lynx¥CODESOFT 9							
グリッド設定	データ(*.TXT)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
	拡張式機能(*.DLL)	C:¥Users¥Public¥Documents¥Teklynx¥CODESO							
FORI 🗾									
		OK キャンセル ヘルプ(H)							

2. パスのセルをクリックし、デフォルトの作業フォルダーを変更します。

または

… ボタンをクリックし、新しいデフォルトの作業フォルダーを選択します。パスは、ディレクトリ で変更します。

3. OK ボタンをクリックします。

# ドキュメントのページ設定

ドキュメントのテンプレートは、ページ設定ダイアログボックスで作成し、変更 できます。

ドキュメントのページ設定は、ページサイズ、印刷方向、1 行あたりのラベル 数と1 列あたりのラベル数、ドキュメントサイズ、マージン、ラベル間ギャップ から構成されます。お客様独自のドキュメントテンプレートを作成し、後で使用 するために保存することができます。

**注意**:ドキュメントのストックを作成する前に、まずドキュメントの印刷に使用するプリンターのモデルを選択しなければなりません。

ファイル > プリンター選択を選択します。

ページフォーマットは、ページ設定ダイアログボックスを使用して、定義します。 これにより、プリンター設定も更新されます。このソフトウェアは、Windowsの プリンター設定 ダイアログボックスで定義されるページ設定を使用しません。

ページ設定ダイアログボックスにアクセスするには

1. ファイル > ページ設定 を選択します。

または

📃 ボタンをクリックします。

ページ設定		×
	₩ <del>5</del> ~1	
ストック	用紙	ラベル間検出
₹ 7×10 1	ーラベルサイズ(ミリ) 幅 高さ コーナー R	76.20
	ラベル枚数 列ごと 行ごと	
RFTag		
設定(S)		OK キャンセル ヘルプ(H)

- 2. ラベル タブをクリックし、ラベルのサイズと枚数を入力します。
- 3. ページ タブをクリックし、ページサイズと向きを選択します。
- マージン タブでマージン値を入力します。
   ストック タブを使用すると、カスタマイズしたストックを保存することができます。
- 5. OK ボタンをクリックします。

**注意**:入力されたパラメーターがストックのサイズに対応していない場合、エ ラーメッセージが表示されます。

#### (例)ページ設定とカスタムストックの作成

- 1. ドキュメントを新規に作成します。
- 2. 一般的な Windows プリンターを選択します。
- 3. ファイル > ページ設定 を選択します。

または

⊟ ボタンをクリックします。

- 4. ラベル タブをクリックし、以下の値を入力します。
  - 幅と高さ: 30
  - コーナーR: 0
  - ラベル枚数:
    - 列数:2
    - 行数:3
- 5. ページ タブをクリックし、以下の値を選択します。
  - 自動サイズ: チェック
- 6. マージン タブをクリックし、以下の値を入力します。

31

- マージン:
  - **左**: 10
  - 上:10
- 間隔:
  - 行間隔:5
  - 列間隔:5
- 7. ストック タブをクリックし、以下の値を入力します。
  - 種類: Family
  - 名前: Layout1
- 8. OK ボタンをクリックします。

(例)CD ジャケットのデザイン

- 1. ドキュメントを新規作成し、FRONTという名前を付けます。
- 2. プリンターを選択します。
- ツール > オプション から、表示 タブをクリックし、単位としてミリメート ルを選択します。OK ボタンをクリックします。
- 4. **ファイル > ページ設定**を選択します。

または

📃 をクリックします。

- 5. ラベル タブをクリックし、以下の値を入力します。
  - 幅および高さ: 120
  - **コーナーR**: 100
  - ラベル枚数:
    - 列数:1
    - 行数:2
- 6. ページ タブをクリックし、以下の値を選択します。

- **用紙サイズ**: A4,
- 向き: 縦
- 7. マージン タブをクリックし、以下の値を入力します。
  - マージン:
    - **左**: 40
    - 上: 10
  - 間隔:
    - 行間隔: 15
- 8. ストックタブをクリックし、以下の値を入力します。
  - 種類: Jacket,
  - 名前: CDx2.
- 9. OK ボタンをクリックします。

注意:この例では Windows プリンターを使用しています。熱転写プリンターを 使用すると、ページ設定を行う際にエラーメッセージが表示される場合があり ます。その場合は、サイズを修正してください。

## カスタマイズしたストックの削除

作成したストックが不要になった場合、削除することができます。

## カスタマイズしたストックを削除するには

- ファイル > ページ設定 を選択します。
   または
  - 📃 ボタンをクリックします。
- 2. ストック タブにおいて、種類と名前リストからストックを選択します。
- 3. 削除 ボタンをクリックします。

# 固定オブジェクトを使用したドキュメントの作成

# 固定オブジェクトの作成と操作

固定オブジェクトを作成するということは、ドキュメントにオブジェクト(テキスト、 バーコード、イメージ、線、矩形、円)を挿入するということです。

## オブジェクトの作成

次の方法により、素早くかつ簡単にオブジェクトをドキュメント内に作成するこ とができます。

● 作成 ツールバー

または

● **オブジェクト**メニュー

注意:作成されたそれぞれのオブジェクトは、アプリケーションによって自動的 に名前が付けられます。オブジェクトを選択すると、オブジェクトビューおよび オブジェクトツールバーにその名前が表示されます。

次のオプションの1つを使用してオブジェクトを作成することができます。

### • 直接モードで作成

- ドキュメントに挿入したいオブジェクト(テキスト、バーコード、イメージなど)を作成ツールバーで直接クリックします。
- 2. オブジェクトを配置したい場所をラベル上でクリックします。

または

- ガイドモードで作成
  - 1. 作成ツールバーの対象オブジェクトボタン右横の▼ボタンをクリックします。実行可能なアクションを示すサブメニューが表示されます。
  - 2. 適切なアクションを選択します。
  - 3. オブジェクトを配置したい場所をラベル上でクリックします。

## オブジェクトの修正

次の操作によりオブジェクトを変更することができます。

- ツールバー
- オブジェクトのダブルクリック
- オブジェクトビュー内で対象オブジェクトを右クリック > プロパティ

ドラッグ&ドロップ機能やオブジェクトの右クリック、そしてプロパティの選択は 現在のタスクを実行するために使用されます。現在のタスクとは、テキストま たは Windows によってサポートされているグラフィックファイルをドラッグ&ド ロップしてテキストあるいはイメージオブジェクトを作ること、または、データソ ースビューでデータソースをドラッグ&ドロップして変数オブジェクトを作ること を含みます。項目をドラッグ&ドロップするには、項目をクリックし、マウスの左 ボタンを押し続けながら希望する場所まで移動し、ボタンを離します。

## テキストオブジェクトの作成

テキストオブジェクトで、1文字、1つの単語、またはパラグラフ全体を作成することができます。

文字スタイルとパラグラフフォーマットは、文字書式ツールバーまたはテキスト ダイアログボックスを使用して定義します。 テキストオブジェクトを作成するには:

- 作成ツールバー上で T ボタンをクリックします。
   または
   オブジェクト>テキスト を選択します。
- ワークスペース内または修正するテキストをクリックします。
   または
   ワークスペース内でクリックし、そのままドラッグしてフレームを作成します。
- テキストを入力します。
   テキストのスタイルはテキストダイアログボックスで定義することができます。

## テキストダイアログボックスを開くには:

- テキストオブジェクトの枠をダブルクリックします。
- テキストオブジェクトを選択し、オブジェクト>プロパティ を選択します。
- オブジェクトビュー内でテキストオブジェクトをダブルクリックします。

#### (例)CD ジャケットの作成:テキストの挿入

- 1. 文字の作成ツールボタンをクリックします。
- 2. ワークスペース内をクリックし、"Volume:"と入力します。
- 3. テキストを選択し、枠をダブルクリックします。
- 4. 以下の値を入力します。
  - フォント: Arial
  - 高さ:10 ポイント
- 5. OK ボタンをクリックします。
- 6. 上記の操作を繰り返して、"Conducted by:"を挿入します。

## バーコードオブジェクトの作成

バーコードダイアログボックスを使用して、バーコードシンボルの選択、属性 の定義、そしてコード化するメッセージを入力します。

バーコードオブジェクトを作成するには:

- 作成ツールバー上で IIII ボタンをクリックします。
   または
   オブジェクト>バーコード を選択します。
- ワークスペース内をクリックします。
   バーコードダイアログボックスが表示されます。
- 3. バーコードタブでバーコードを選択します。プリンターとグラフックを選択 することができます。
- プリンター内蔵のバーコードをリスト表示するにはプリンターをクリックします。
   または
   ソフトウェアによって生成されるバーコードをリスト表示するにはグラフィックをクリックします。
- 5. 必要に応じてバーコードの詳細(高さ、細バー幅、比率、チェックキャラク ター)を定義します。
- 6. データフィールドにコード化するデータを入力します。
- 7. OK ボタンをクリックします。

注意:すべてのプリンターが必要なバーコードを搭載しているわけではありま せん。そのような場合は、グラフィックを選択すればバーコードを印刷すること ができます。この場合のバーコードはグラフィックスとしてプリンターに送られ ますので、印字速度は遅くなります。

## 図形オブジェクトの作成

## 線分の描画

下記と同じプロセスを使用して線分、円/楕円、矩形、その他の図形を描くこ とができます。

#### 線分を描くには:

- 作成ツールバー上で トボタンをクリックします。
   または
   オブジェクト>図形>直線 を選択します。
- 2. ワークスペース内をクリックします。
- 3. マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かして線を描きます。

(例)CD ジャケットの作成:円の描画

- 1. 円/楕円の作成ツールボタンをクリックします。
- 2. ワークスペース内をクリックします。
- 3. マウスの左ボタンを押したまま SHIFT ボタンを押し、マウスを動かして 円を描きます。
- 4. 作成した円をマウスの右ボタンでクリックし、表示されたメニューからプロ パティを選択します。
- 5. 一般タブを表示し、位置とサイズの幅と高さ欄に下記の値を入力します。

#### ● 幅および高さ: 20

- 6. OK ボタンをクリックします。
- オブジェクト>位置合わせ>ドキュメントの横中央、およびオブジェクト>
   位置合わせ>ドキュメントの縦中央をクリックして、ジャケットの中央に揃えます。

8. ロックボタンをクリックしてオブジェクトをロックします。

## イメージの挿入

ラベルにイメージや会社のロゴを挿入することができます。

多くのグラフィックフォーマットを挿入することができます: bmp、dib、dxf、emf、 fmf、eps、fpx、img、gif、jpg、pcd、pcx、dcx、png、rle、tga、tif、wmf、wpg など。

## イメージを挿入するには:

- 作成ツールバー上で ゴボタンをクリックします。
   または
   オブジェクト>イメージ を選択します。
- ワークスペース内をクリックします。
   イメージ選択ダイアログボックスが表示されます。
- 3. ファイル参照タブを選択します。
- 4. 挿入するイメージファイルを選択します。
- 5. OK ボタンをクリックします。

**注意**:イメージのプレビューを表示するには、プレビュー表示にチェックを入れます。

# 変数オブジェクトを使用したドキュメントの作成

# データソースについて

データソースには、数種類のデータソースからなる変数がリストされています。 データソースは、データベースデータソース以外は、カテゴリとサブカテゴリに 分けることができます。

データソースを選択すると、必要とされるデータがどこにあり、それがどのデ ータタイプであるかが示されます。データは、アプリケーション内部で生成され るデータ(数式、日付、カウンター)と、アプリケーションに外部から指定できる データ(データベース、フォームを使用した直接入力)に大別できます。

**データソース**ビューまたはメニューで利用可能なデータソースは、以下のとおりです。

データソース	内容
データベース	データベースに接続することができます。
日付	日付または時刻を挿入することができます。
数式	ドキュメント内で数式を作成することができます。
フォーム	印刷時にデータを手入力することができます。
テーブル参照	データベースの検索結果を追加することができます。
カウンター	独自に増減する値を挿入することができます。
自由	このデータソースは、外部生成/内部生成されないデー
	タによって構成されます。このデータソースは、データソ
	ース間で値を相互参照するための中間変数として使用
	することができます。

## データソースの作成

データソースを使用すると、例えば、アプリケーションの外部のデータ、演算デ ータ、コンピューターの日付システムなどを使用することができます。これらの 変数に関連する値は、さまざまなデータソースから提供されます。

以下の方法でデータソースを作成できます。

#### データソースビュー

- 1. データソースビューにおいて、データソースの1つを右クリックします。
- 2. ポップアップメニューから、追加を選択します。

## データソースメニュー

- 1. データソース メニューをクリックします。
- 2. データソースの1つを選択します。
- 3. 追加をクリックします。

ツールバー

- 1. ツールバーの 🧾 をクリックします。
- 2. 必要な データソースを選択します。
- 3. サブメニューで、追加を選択します。

## それぞれの作成モードについて

- 作成したデータソースは、選択されたデータソースの下に自動的に表示されます。
- アプリケーションにより、データソースにデフォルト名が付けられます。

注意:括弧 {} は変数名に使用できません。

これは、**データベース** データソースからの変数を除いて、すべてのデータソー スに適用されます。データベース変数を作成するには、クエリーを作成する必 要があります。

 データベース データソース以外は、選択されたデータソースの下にカ テゴリとサブカテゴリを作成することができます。

注意:カテゴリとサブカテゴリを作成するためには、データソースを右クリックし、 カテゴリの追加を選択します。

## データベース データソース

#### コマンド: データソース > データベース > クエリーの作成と修正

**データベース** データソースには、クエリーまたは ASCII テーブルからのデー タにより生成された変数が含まれます。

注意:変数名には、生成したフィールドの名前がそのまま使用されます。 データベース変数は、データベースのフィールド名とリンクしているため、変数 名を変更することはできません。

#### クエリーの作成

#### コマンド:データソース > データベース > クエリーの作成と修正

1. データソースの選択リストから、データソースを選択します。

注意:新しいデータソースの場合、新規…ボタンをクリックします。これにより、 ウィザードを使用するか、ODBC または OLEDB データソースを選択すること ができます。

デフォルトでは、標準作成モードが有効ですが、クエリーを作成する場合は、 高度な SQL 作成モードを使用することができます。

#### 標準作成モード

- テーブルの選択 リストにおいて、検索を実行するテーブルを選択します。
   テーブル名を含めるオプションを使用すると、フィールドのリストにテーブ ル名を表示することができます。
- 3. **選択フィールド**リストにおいて、選択したテーブルに関するフィールドを選 択します。

注意: 🧾 をクリックすると、すべてのフィールドを選択できます。

**ヒント**: ラベルで使用するフィールドのみを選択することをお勧めします。これにより、データベースとの通信量が減少し、処理速度が速くなります。

4. 🔟 をクリックすると、結果が表示されます。

高度な SQL 作成モード

- 2. SQL モードを選択します。
- 3. 編集フィールドに、SQL 形式でクエリーを入力します。 または

**SQL クエリービルダー**ボタンをクリックし、クエリービルダーにアクセスし ます。これにより、SQL データベースクエリーを構築する際に、簡単に使 用できるインターフェースをご利用いただけます。アプリケーションで、新 しいリクエストを作成したり、既存のリクエストをグラフィカルに表示できま す。

	o sql	Query Builder												
	5Q.	Dialect : Access200	03 <b>~</b>	📕 System o	bjetts	0								
ĺ	Main													
											Q			
											,			
	Dutput	Expression	Aggregate	Alias	Sort Type	Sort Order	Grouping	Criteria	0r	0r	0r			
	<										>	1		2
	SELEC	т =										<u>123</u>		
											-			
											L	OK	Can	cel

# 4. 🔟をクリックすると、結果が表示されます。

作成されたデータソースは、データベースのフィールド名がついています。 ナビゲーションバーがワークスペースに表示されます。

5. 終了したら、**OK** ボタンをクリックします。

## テーブル参照 データソース

**テーブル参照** データソースの値は、現在のドキュメントにリンクされていない データベースで実行した検索の結果となります。 検索は、データベース内のテーブルの1つ以上のフィールドに対して実行さ れます。与えた検索条件に一致するデータがあれば、検索で見つかったレコ

ードフィールド(「結果フィールド」と呼ばれる)の1つから抽出されます。

コマンド:データソース > テーブル参照 > 追加

1. データソースの選択リストからデータソースを選択します。

注意:新しいデータソースを作成するには、新規作成 ボタンをクリックします。 これにより、ウィザードを使用するか、ODBC または OLEDB データソースを 選択することができます。

2. デフォルトでは、標準作成モードが有効ですが、テーブル参照を実行す るために、高度な作成モードである SQL を使用することもできます。

標準作成モード

- 3. 選択テーブルリストにおいて、検索を実行するテーブルを選択します。
- 4. 結果フィールド リストにおいて、検索結果として値を取得するフィールドを 選択します。
- 5. 与 をクリックして行を追加します。
- 6. 検索条件として使用するキーフィールドを選択します。
- 7. 検索条件のデータを保持している、現在のドキュメントの変数を選択しま す。
- 8. テストボタンをクリックして結果を表示します。

高度な SQL 作成モード

3. SQL モードをクリックします。

す。

編集フィールドに、SQL 形式でクエリーを入力します。
 または
 SQL クエリービルダーボタンをクリックし、クエリービルダーにアクセスします。これにより、SQL データベースクエリーを構築する際に、簡単に使用できるインターフェースをご利用いただけます。アプリケーションで、新しいリクエストを作成したり、既存のリクエストをグラフィカルに表示できま

SQL Query Builder	
SQL Dialect : Access2003 V System objects	
Main	
Output Expression Aggregate Alias Sort Type Sort Order Grouping Criteria Or Or	Or
SELECT *	
	OK Cancel

5. テストボタンをクリックし、クエリーダイアログボックスに結果を表示します。

## 日付データソース

#### コマンド:データソース > 日付 > 追加

日付データソースは、コンピューターまたはプリンターのシステム日付から生 成されます。これを使用すると、事前に定義された形式で、日時を表示するこ とができます。値は各印刷セッションが始まる時に自動的に更新されます。

現在の日付または時間を、ドキュメントに挿入することができます。現在の日時に固定値を加減算することで先日付や後日付を印刷することもできます。

## 日付データソースのプロパティを定義

- 1. 日付タブにおいて、希望する日付形式を選択します。
- 2. 日付フォーマットが、プレビューゾーンに表示されます。
- 3. OK ボタンをクリックします。

#### デモンストレーション

#### 日付の挿入

- 1. ラベルを開きます。
- 2. 日付データソースを追加し、datefabと名前を付けます。
- 3. 日付ダイアログボックスに日付を作成します。yy/mm/dd 形式で作成しま す。
- 4. 日付形式リストの一番下の「ユーザー定義」を選択します。
- リスト下左の入力欄に「yy/mm/dd」と入力します。
   または、
   リスト下右のコンボボックスで書式を選択し、"/"記号で連結します。
- 6. OK ボタンをクリックします。
- 7. 日付 (datefab) を選択し、ワークスペースにドラッグ & ドロップします。

8. コンテキストメニューで、テキストを選択します。

カウンター データソース

コマンド:データソース > カウンター > 追加

**カウンター** データソースは、コンピューターまたはプリンターのいずれかで計 算されたデータにより生成されます。

データソースの内容は、印刷が進むにつれて初期値と増分値に従って変化し ます。

## カウンター データソースのプロパティを定義

- カウンターの種類を選択します。リストに表示されたもの以外のカウンターの種類を使用したい場合は、ユーザー定義を選択し、カスタマイズした 文字列並びを入力します。
- 2. 増分ボックスに値を入力します。デフォルトは、+1 です。
- 3. 現在の値ボックスに開始値を入力します。デフォルトは、0です。
- 4. 最小値/最大値を入力します。デフォルトは、0~9999です。
- 5. OK ボタンをクリックします。

デモンストレーション

#### カウンターの作成

- 1. ラベルを開きます。
- 2. カウンターを作成し、namcdと名前を付けます。
- 3. コンテキストメニューで、プロパティを選択します。
- 4. カウンターの種類として、10進を選択します。
- 5. 増分値ボックスに"1"を入力します。

- 6. 現在の値ボックスに"1"を入力します。
- 7. OK ボタンをクリックします。
- 8. カウンター(namcd)を選択し、ワークスペースにドラッグ&ドロップします。 コンテキストメニューで、**文字**を選択します。
- 9. それを右クリックし、コンテキストメニューで、プロパティを選択します。
- 10. 以下のテキストの特徴を選択します。

フォント: Arial

高さ: 3.20 mm

## 数式データソース

**数式**データソースは、演算子、定数、データソース、予約変数、式および関数 の組み合わせにより生成されます。データは数字または英数字となります。

ドキュメント内で演算を行う場合、まず、数式データソースを作成しなければなりません。

このデータソースには、特定の式に関して必要な関数を定義することができる ダイアログボックスがあります。

#### 数式データソースのプロパティを定義

コマンド: データソース > 数式 > 追加

- 編集ボックスに直接、式を入力します または
   必要な要素を左下のリストから選択し、挿入をクリックします。
- テストボタンをクリックすると、シンタックスが正しいかどうかを確認できます。エラーが発生した場合、画面の指示に従って、必要なすべての変更 を行ってください。
- 3. OK ボタンをクリックします。

ヒント:ダブルクリックにより要素を挿入することができます

**注意**:式に使用される変数に、以下の文字の1つを含む名前がある場合、それを括弧 {}に含めなければいけません。 &+-\*/<>=^%,!\"

注意:テストボタンをクリックすると、式をチェックすることができます。メッセージに式の値が表示される場合、式が正しいことになります。値が正しくない場合は、画面の指示に従って必要な変更を行ってください。取得した値が切れている場合、出力タブに指定される最大長を変更してください。

デモンストレーション: 簡単な式の作成

#### 製品の価格を表示

生産ラベルには、重量と1キロあたりの価格から計算した値を製品の価格と して表示します。

- ラベルを開きます。WEIGHT と PRICEPERKG の 2 つの変数を作成す ることが必要です。
- WEIGHT 変数: ローカル値として 788 (製品の重量 788 g)を入力し、プレフィックスボックスに「重量をグラムで入力してください」を入力し、OK ボタンをクリックします。
- 3. PRICEPERKG 変数: 変数のローカル値として 15.70 (価格/kg FF15.70)を入力し、プレフィックスボックスに「1 キロあたりの価格を入力 してください」を入力して、OK ボタンをクリックします。
- 4. 式を追加し、PRICEと名付けます。
- 5. 式 WEIGHT\*PRICEPERKG/1000 を入力し、OK ボタンをクリックしてく ださい。
- 6. ドキュメントを保存します。

#### デモンストレーション:警告メッセージを表示するために「Warning」式の変数を追加

下記のシーケンスでは、ユーザーに警告メッセージを表示し、Total\_Weight 共有変数の値が 1,000kg を超えていることを伝える場合の式を作成します。

重量の値が 1,000kgを超える場合、「ご注意ください!エラー!総重量が最 大値を超えています!」というメッセージを表示します。

- 1. ラベルを開きます。
- 2. 数式を作成し、「Warning」と名付けます。

- 3. 数式のダイアログボックスにおいて、以下の式を入力します。
   if(Total\_Weight>1000、"ご注意ください:総重量が最大値を超えています!", "")。
- 4. 出力タブでは、最大の長さに50を入力し、OKボタンをクリックします。
- 5. 変数をテキストとしてラベル内に設置します。
- テキストのダイアログボックスでは、フォントに Scalable を、高さに 12.70 mmを設定します。
- 7. パラグラフ タブでは、自動行送り オプションにチェックをつけ、水平位置 合せで中央揃えを選択します。

## IF ファンクションに関する情報

指定された条件が TRUE の場合には、ある値を返し、FALSE の場合には別の値を返します。

IF ファンクションを使用して、値や式に関する条件テストを行います。

シンタックス

*if("expr","val\_if\_true","val\_if\_false")* "*expr"* が値または式を表す場合、その結果は TRUE または FALSE

val\_if\_true は、"expr"が TRUE の場合に返される値です。val\_if\_true 引数 は別の式とすることもできます。

*val\_if\_false* は、*"expr"*が FALSE の場合に返される値です。*val\_if\_false* 引数は別の式とすることもできます。

## フォーム データソース

#### コマンド:データソース > フォーム > 追加

フォームデータソースには、作成した変数のリストが含まれます。これらのデ ータソースは、キーボードを使用して、フォームに直接データを入力し、生成し ます。

#### フォームの表示

**フォーム**を使用すると、デザイン中、または通常、印刷前にデータを入力する ことができます。

## フォームを表示するには

- 1. フォーム 変数を含むラベルを開きます。
- 2. ツールバーの 🛄 ボタンをクリックします。

デフォルトでは、ワークスペースで、ラベルとフォームを別々に表示することができます。

#### ラベルとフォームを一緒に表示するには

- 1. フォームのタブをワークスペースの右側にドラッグします。
- 2. ラベルとフォームの両方が表示されます。

ラベルまたはフォームを変更すると、自動的にもう一方のデータが更新されます。

#### フォームのカスタマイズ

フォームのカスタマイズ・ダイアログボックスで、色やフォントなどを変更し、フォームの外観をカスタマイズすることができます。

## ダイアログボックスにアクセスするには

- 表示 > フォームのカスタマイズを選択します。
   または
- マウスの右クリックでフォームを選択し、フォームのカスタマイズを選択します。

または

• フォーム表示でウィンドウの背景をダブルクリックします。

データをフォームに入力する順序を変更

データをフォームに入力する順序を変更することができます。

手順は以下のとおりです。

- 1. マウスを用いて、フォームを選択します。
- 2. 右クリックします。
- 3. タブ順序の開始を選択します。デフォルトのナンバリングが表示されます。
- フォームに最初に表示したいフィールドの数字をクリックします。確認すると、数字が緑に変わります。
- 5. ステップ4を繰り返し行い、並べ替えを続けます。
- 選択を確認するには、右クリックし、タブ順序の検証を選択します。最初のフィールドを確認すると、フィールドの順序が自動的に確認されます。
   その後、ナンバリングがフォームから消えます。

注意:変更をキャンセルすることもできます。フォームを右クリックし、タブ順序の破棄を選択します。

## フォーム データソースのプロパティを定義

コマンド: データソース > フォーム > フォーム変数名 > プロパティ

- 1. フォームタブをクリックします。
- 2. フォームに表示したいプロンプトを入力します。

- 3. 必要に応じて入力形式と最小の長さを定義することができます。
- 選択リストから <ローカル> を選択し、フォーム画面で選択させる値を作 成することができます。
   をクリックすると、選択リスト のダイアログ ボックスにアクセスします。
- 5. 出力タブでは、出力形式、最大の長さ、サフィックスとプレフィックスを定 義できます。
- 6. **OK** ボタンをクリックします。

**注意**:入力タブで空のローカル値を定義し、印刷後に初期化ボックスにチェックをつけると、各印刷ジョブの後に変数の値が空値に設定されます。

デモンストレーション

フォーム データソースの作成

- 1. ラベルを開きます。
- 2. フォームデータソースを追加し、productnameと名前を付けます。
- 3. ローカル値として「チーズ」を入力します。
- 4. フォームタブでは、最小の長さに「1」を入力します。
- 5. 出力タブをクリックし、最大の長さに「20」を入力します。
- フォームデータソースを選択し、ワークスペースにドラッグ&ドロップします。
- 7. コンテキストメニューで、文字を選択します。

## 自由データソース

コマンド:データソース > 自由 > 追加

自由 データソース には、作成したデータソースのリストが含まれます。これら のデータソースは、作成した時に指定されていないデータにより生成されます。 自由データソースを使用して、中間データソースを作成することができます。

#### 自由 データソースのプロパティを定義

入力タブで、以下のローカル、共有、またはファイルからいずれかを選択します。
 ローカル を選択した場合は、ボックスに変数値を入力します。これは、

変数の初期値となります。

または

共有 を選択した場合は、ボックスに変数値を入力します。 OK ボタンを クリックします。

または

ファイルから を選択した場合は、必要なファイルを選択します。

または

Port Watch を選択した場合は、USB やイーサーネットで接続されて いるデバイスを使用することができます。自由変数を作成して、Port Watch タイプを選択することにより、Port Watch 変数を作成することが できます。

- 出力タブで、出力形式、最大の長さ、サフィックスとプレフィックスを定義 することができます。
- 3. OK ボタンをクリックします。

デモンストレーション

## 自由データソースの作成

- 1. ラベルを開きます。
- 2. 自由 データソースを作成し、"ref"と名前を付けます。

59

- 3. データソースをテキスト形式でラベルに挿入します。
- 印刷時にこのデータソースを表示しない場合は、これを選択し、オブジェ
   クトツールバーで ♀ をクリックします。

## 変数オブジェクトの作成

変数オブジェクトとは、作成時には値が定義されていない要素から構成される、 テキスト、バーコード、または画像タイプのオブジェクトです。複数のオブジェク トを1つの変数に関連付けることができます。

これらの要素の値は、印刷する時に、さまざまなデータソースにより提供されます。

- フォームへの直接的なキーボード入力(フォーム データソース)
- 外部ファイルまたはデータベースからのインポート(テーブル参照またはデータベース データソース)
- コンピューターにより計算されるフィールド(数式、カウンター および日 付データソース)

注意:データソースビューでは、選択されたオブジェクトに関連付けられた変数が赤い矢印 ➡で示されます。

既存データソースにリンクした変数オブジェクトを作成

以下を使用して、ドキュメントにおいて変数オブジェクト(バーコード、画像、テ キスト)をすばやく簡単に作成することができます。

- 作成ツールバー
   または
- オブジェクトメニュー

以下のオプションのいずれかにより、オブジェクトを作成することができます。

## • 直接モードで作成:

- ドキュメントに挿入したいオブジェクト(バーコード、画像、テキスト)をデザ
   インツールバーで直接クリックします。
- ラベル上の配置したい場所をクリックします。
   作成ウィザードがデフォルトで実行されます。実行されない場合は、オブ ジェクトをダブルクリックし、プロパティダイアログボックスを開きます。

- 3. データソースタブをクリックします。
- 4. 変数を選択します。
- 5. オブジェクトに指定したい変数を選択します。
- ガイドモードで作成:
  - デザインツールバーの対象オブジェクトボタン右横の▼ボタンをクリックし ます。実行可能なアクションを示すサブメニューが表示されます。
  - 既存データソースを使用して、変数オブジェクトを作成するには、以下のいずれかの方法を選択します。
     -既存のデータソースを使用を選択してから、該当する変数を選択します。 または
     ウィザードを選択します。この方法では、変数オブジェクト作成プロセスをステップごとに案内します。
  - 3. ラベル上で配置したい場所をクリックします。

**注意**:作成ウィザードは、デフォルトで有効となっています。これを無効にする には、**ツール > 設定 > ウィザード**を選択します。詳細は、「ウィザードの有効 化」を参照してください。

## 新しいデータソースにリンクした変数オブジェクトを作成

以下を使用して、すばやく簡単に、ドキュメントにおいて変数オブジェクト(バー コード、画像、テキスト)を作成することができます。

- 作成ツールバー
  - または
- **オブジェクト**メニュー

以下のオプションのいずれかにより、オブジェクトを作成することができます。

直接モードで作成:

- 1. ドキュメントに挿入したいオブジェクト(バーコード、画像、テキスト)をデザ インツールバーで直接クリックします。
- 2. ラベル上の配置したい場所をクリックします。

作成ウィザードがデフォルトで実行されます。実行されない場合は、オブ ジェクトをダブルクリックし、プロパティダイアログボックスを開きます。

- 3. データソースタブをクリックします。
- 4. 変数を選択します。
- オブジェクトに指定したい変数を選択し、右クリックし、追加を選択します。
   または
   新規データソースをクリックし、追加したい変数を選択します。
- ガイドモードで作成:
  - デザインツールバーの対象オブジェクトボタン右横の▼ボタンをクリックし ます。実行可能なアクションを示すサブメニューが表示されます。
  - 2. 新しい変数を使用して、変数オブジェクトを作成するには、以下のいずれ かの方法を選択します。
    - **新規データソース**を選択します。

または

- ウィザードを選択します。この方法では、変数オブジェクト作成プロセス をステップごとに案内します。

3. ラベル上の配置したい場所をクリックします。

**注意**:作成ウィザードはデフォルトで有効となっています。これを無効にするには、**ツール > 設定 > ウィザード**を選択します。詳細は、「ウィザードの有効化」 を参照してください。


## 強力な印刷エンジン

本製品は、自動認識ソフトウェア市場において、これまでで最も幅広いプリン ター(感熱式、熱転写およびインクジェット)に対応し、強力で使いやすい作成 ツールと印刷エンジンを提供しています。

単独のラベルやー連のラベル、あるいは同じラベルを複数印刷するなど、あ らゆる場面で使用するすべての印刷コマンドが、**印刷**ダイアログボックスにま とめられています。

ドキュメントの印刷

ドキュメントを印刷するには:

- ファイル > 印刷 を選択すると、印刷ダイアログボックスにアクセスします。
   ボタンまたは F6 を押すこともできます。
- 2. ラベル テキストボックスで、印刷するラベル数を入力します。
- 3. OK ボタンをクリックします。

実践ワークショップ1-ラベルシリーズとラベルコピー

まず、シリーズでのラベルと各ラベルのコピーを区別しましょう。

注意:ラベルにカウンターが含まれない場合、印刷ダイアログボックスには、 各ラベルの部数フィールドが表示されず、ラベルフィールドのみが表示されま す。この場合、それは同じ目的で使用されます。 **シリーズと各ラベルのコピー**の違いを明確にするために、2種類の異なったタ イプのカウンターを含むラベルを検討し、印刷ダイアログボックスを別々の方 法で設定します。

#### テストラベルの作成

2つのカウンターを作成します。

- 単純なカウンター。値が 10 になるとリセットされます。
  - 種類:10 進数
  - 増分:+1
  - 最小值:0
  - 最大值:10
- ラベル間で値が引き継がれる ISO カウンター。この場合も、値が 10
   になるとリセットされます。
  - 種類:10 進数(ISO カウンター)
  - 増分 +1
  - 最小值:0
  - 最大値:10

最初のカウンターを NumLabel、2 つめのカウンターを ISO Count と名付け ます。NumLabel は、特定のラベルを識別するのに対して、ISO Count は、 印刷したラベルの合計をカウントします。 シリーズでのラベル

この例で、一連の10枚のラベルを印刷します。

- 1. 印刷ダイアログボックスで、以下の値を入力します。
  - シリーズを構成するラベル数:10
     これは、シリーズで10枚の異なるラベルがあることを表します。
- 2. 印刷ボタンをクリックします。

印刷された結果は、10枚のラベルが印刷され、2つのカウンターが同じ値と なります。

## 各ラベルのコピー

次に、一連の5枚のラベルを印刷しますが、今回はそれぞれ2つのコピーを 印刷します。

- 1. 印刷ダイアログボックスに以下の値を入力します。
  - シリーズを構成するラベル数:5
  - **ラベルの複写枚数**:2
- 2. 印刷ボタンをクリックします。

印刷された結果は、10枚のラベルが印刷され、NumLabel は 1~5のラベル が各 2枚ずつ印刷され、ISO Count は 1~10のラベルが印刷されます。

### 各ページのコピー

先ほどご覧いただいたように、同じラベルを複数印刷することができます。次の例では、同じページを複数印刷する方法を見ていきます。プリンターがページをどのように認識するかを理解することが必要です。

ページは、プリンタードライバーを設定する時に指定されるパラメーターによっ て決まります。取得される結果は、オフィスプリンターで印刷するか、熱転写プ リンターで印刷するかによって、全く異なる場合があります。熱転写プリンター で主に使用される連続ロール紙でページを視覚化するのは非常に難しいかも しれません。

さらに、印刷メディアの寸法やラベルのサイズによって、ページの寸法がラベルに対応する場合があります。この場合、ページ部数がラベル部数と同じになります。

ページ形式とラベルのサイズは、ページ設定ダイアログボックスで定義します。

- 1. カウンターを含むラベルを開きます。
- 2. ファイル > プリンター選択を選択します。
- 3. Windows オフィスプリンターを選択します。
- 4. 紙のフォーマットが A4 であることを確認し、OK ボタンをクリックします。
- ファイル > ページ設定を選択するか、 をクリックします。
   ページ設定ダイアログボックスが表示されます。
   プレビューにより、印刷時のページのイメージを確認できます。
- 6. ダイアログボックスを閉じます。
- 7. 📾をクリックします。
- 8. 以下の値を入力します。
  - シリーズを構成するラベル数:8
  - ページの複写枚数:2
- 9. 印刷ボタンをクリックします。以下のような結果となります。



### 実践ワークショップ2-マージ印刷

マージ印刷は、ラベルがデータベース(ASCII、ODBC または OLEDB)とリン クしている場合のみ、ご利用いただけます。

マージ機能を使用すると、データベースに含まれるすべてのレコードを印刷できます。

### マージ印刷を実行するには

1. ファイル > 印刷を選択して、印刷ダイアログボックスにアクセスします。 または

💼 ボタンをクリックします。

- 2. ラベル テキストボックスに、印刷するラベル数を入力します。
- 3. **データベース**タブを選択し、レコードフィールドで、**全てのレコードを印刷** を選択します。
- 4. OK ボタンをクリックします。

### 実践ワークショップ3-フォームを使用した印刷

印刷する直前に、オペレーターが変数データを入力することが必要な場合が よくあります。このアプリケーションでは、速くて簡単なデータ入力方法である、 フォーム機能をご利用いただけます。 フォーム機能を使用するには、予めラベルにフォーム変数を作成しておきま す。また、フォームのカスタマイズ・ダイアログボックスの印刷時の表示フォー ムで「1 ラベルごと」を選択しておきます。

フォームを使用した印刷

- 1. ファイル > 印刷 を選択するか、F6 キーを押します。
- 2. ラベルフィールドで、「2」を入力します。
- 印刷が開始されます。
   フォームが表示され、印刷するデータを入力することができます。
- 4. 例えば、「Smith」と「51」を入力し、OK ボタンをクリックします。
   最初のラベルが印刷されると、フォームが再び表示されます。
- 5. 例えば、「Mullang」と「52」を入力し、OK ボタンをクリックします。

注意:フォームはシリーズに含まれるラベルごとに表示されます。フォームの カスタマイズ・ダイアログボックスで「1シリーズごと」オプションを選択すると、 フォームはラベルシリーズの印刷が開始される時に一度だけ表示されます。

# まとめ

印刷ダイアログボックス	ラベルにカウンターが含まれる場合は、シリーズ
の表示は状況によって	を構成するラベル数が表示されます。これはシリ
異なります	ーズごとに異なったラベル数、つまりカウンター
	の増減値を意味します。ラベルコピーを使用する
	と、印刷する同じラベルの部数を指定できます。
	ラベルにカウンターが含まれない場合は、 <b>ラベル</b>
	が表示されます。これは印刷枚数と同意になりま
	す。
ページコピー	ページコピーは、ラベルに ISO カウンターが含ま
	れず、ページに1つ以上のラベルが含まれる場
	合のみに実行できます。
マージ印刷	このオプションは、ラベルがデータベースに接続
	されている場合のみに利用可能で、すべてのレ
	コードを印刷することができます。
フォームを使用した印刷	フォームを使用すると、オペレーターは印刷直前
	にキーボードでデータを入力することができま
	す。

# トラブルシューティング

以下の表は、印刷中にもっともよく発生する問題をリスト化し、その解決に役 立つ方法を説明します。

問題	原因	解決法
全く印刷できない	プリンターのプラグが、電源コン	プリンターのプラグを電源コンセン
	セントに接続されていない。	トに接続してください。
	パラレルリンクの場合:	プリンターのコントロールパネル
	プリンターが、パラレルリンクに	で、この設定が行われていることを
	設定されていない。	確認してください(メーカーのガイド
		ブックをご覧ください)。
	シリアルリンクの場合:	PC とプリンター間の通信設定が
	シリアル通信設定に誤りがあ	同じであることを確認してください
	る。	(プリンターで必要なシリアル通信
		設定については、メーカーのガイド
		ブックをご覧ください)。
	シリアルケーブルが適切ではな	ケーブルが、プリンターの仕様に
	ιν <sub>°</sub>	適合していることを確認してくださ
		い(メーカーのガイドブックをご覧く
		ださい)。
	シリアルとパラレル両方の場	接続をチェックしてください。
	合:	
	ケーブルが間違ったポートに	
	接続されている。	
ページが印刷できない	感熱式印刷の場合:	メディアを正しい方向に再度挿入し
	印刷メディアが間違った方法で	てください。
	挿入されている(印刷ヘッドが、	
	紙の逆の面に接している)。	
	熱転写式印刷の場合:	リボンをチェックし、必要に応じて
	リボンが挿入されていない、ま	調整してください(メーカーのガイド
	たは正しく挿入されていない。	ブックをご覧ください)。

	必要な印刷モードが、プリンタ ーで選択されていない。	印刷モード(感熱式または熱転写 式)がプリンター、またはプリンター 設定ダイアログボックスで正しく選 択されていることをチェックしてくだ さい(メーカーのガイドブックをご覧
ゲラフィック・オブジェ	プリンターのメモリーが不足し	ください)。
クト(画像、Windows フォント、バーコードな ど)が印刷できない	ている。	アするオプションにチェックを入れ てください。それでも問題が続くよ うでしたら、画像に割り当てられた メモリー容量をチェックしてください (プリンタードライバーのイメージタ ブ)。
	プリンターに十分なメモリーが ない。	メモリーカードを追加するか、RAM を増設し、プリンターのメモリー容 量を増加してください(メーカーの マニュアルをご覧いただくか、プリ ンターを購入されたディーラーにお 問い合わせください)。
	ー部のプリンターでは、わずか 数ミリでも印刷可能なエリアか らはみ出した場合にオブジェク トを認識しません。	ラベルのオブジェクトの位置を調整 してください。
熱転写プリンターが紙 詰まりする	使用する印刷メディアが、ペー ジ設定ダイアログボックスで定 義されたものと一致しない(連 続紙、またはラベル間ギャッ プ)。	ページ設定で正しい印刷メディア が選択されているかどうかをチェッ クしてください(連続紙、ラベル間 ギャップ)。

# 注意事項

# 式の規約

## 型と暗黙の型変換

このソフトウェアの変数には、一般のプログラミング言語にあるような型(文字型、数値型、ポインター型など)の明確な区別はなく、任意の時点で任意の型 を代入できます。ソフトウェアは、代入した値を可能な限り適切な型に変換し て処理を実行します。

#### 命名規則

変数名は、英字で始まる半角英字と数字だけで構成される必要があり、少な くとも先頭から 20 文字まだは内部メモリーの許す範囲で識別されます。マル チバイト文字列、空白、記号文字などを使用することはできません。命名規則 から逸脱した場合の動作は未定義です。

大文字と小文字は区別されません。特定の型と解釈できるデータのみを受け 付けたい場合は、書式指定文字を使用して入力値を限定するか、変換関数を 使用して明示的に型変換を行ってください。

## 関数の評価順序と副作用完了点

関数と変数の評価順序は必ずしも意図した通りになるとは限りません。一般のプログラミングでは、文は先頭から順次実行されますが、このソフトウェアでは関数の実行順序を決定するコードは存在しません。

以上の点を要約すると、関数オブジェクトには以下の注意点があります。

- ・ 関数中の式は常に左端から解析されますが、個々の関数オブジェクト がどのような順序で呼ばれるかは不定です。個々の演算子の優先順 位は、演算子の項を参照してください。
- 式の副作用完了点は、常に式末にあります。
- ・ 関数は再帰呼び出しを行うことはできません。行った場合の結果は未 定義です。
- 自由変数を除く変数間の相互参照結果は不定です。変数間で値を参照する場合は、必ず自由変数を経由しなければなりません。

### 演算子

演算子には優先順位があります。優先順位は代数学的に自然な表記になる ように決められています。

優先順位と違う順序で評価する場合は、式の特定の要素を括弧"()"で囲まな ければなりません。

算術演算子	例	意味	優先順位
٨	5 ^ 2 = 25	べき乗	1
%	20 % 3 = 2	剰余	2
*	5 * 2 = 10	乗算	3
/	6 / 3 = 2	除算	4
+	20 + 5 = 25	加算	5
-	20 – 5 = 15	減算	6

連結演算子	例	意味	優先順位
&	"S1" & "S2" = "S1S2"	文字列の連結	7

比較演算子	例	意味	優先順位
=	Var0 = Var1	等しい	8
>	Var0 > Var1	大きい	9
<	Var0 < Var1	小さい	10
>=	Var0 >= Var1	以上	11
<=	Var0 <= Var1	以下	12
<>	Var0 <> Var1	等しくない	13

4 + 5 \* 6 - 9 / 2

最初に乗算が実行され(5\*6)、除算(9/2)、加算(4+30)、最後に 減算が実行されます。

優先順位がある場合とない場合は、結果はまったく異なります。計算 が先頭から順に実行された場合の結果は 22.5 であるのに対し、実際 の計算結果は 29.5 です。

(4+5)\*(6-9)/2
 2つの演算子が同じ優先順位を持つ場合、計算は左から右に実行されます(左結合)。括弧によって特定の計算を分離することができます。
 この計算の結果は、29.5ではなく、-13.5になります。

この例題の結果が四捨五入されている場合は、式が入力されている数式ダイ アログボックスの出力タブにある、「数値書式で整形」を選択してください。(初 期状態では四捨五入をして小数点以下を切り捨てる設定になっています。) ユーザーガイド



# 予約語

いくつかの文字または単語は予約語なので、変数名やリテラルとして使用することができません。<u>予約語には大文字/小文字の区別はなく、そ</u>の予約語で始まる単語自体が禁止されています。

例えば、MaxSize は、ODBC に起因する予約語 MAX と衝突するので使用することはできません。

### ソフトウェア固有の予約語

#### @で始まる文字列

@で始まる文字列は、バーコードの特殊データ文字列または制御変数名として予約されています。

### 数式変数の関数名と同じ文字列

数式変数の関数名と同じ文字列は使うことができません。

### ODBC に起因する予約語

ソフトウェアではなく、ODBC データベースで使用されている SQL 関数に起 因する予約語が多数あります。次ページの予約語リストを参照してください。 ABSOLUTE ADA ADD ALL ALLOCATE ALTER AND ANY ARE AS ASC ASSERTION AT **AUTHORIZATION** AVG BEGIN BETWEEN BIT BIT\_LENGTH BY CASCADE CASCADED CASE CAST CATALOG CHAR CHAR LENGTH CHARACTER CHARACTER LENGTH CHECK CLOSE COALESCE COBOL COLLATE COLLATION COLUMN COMMIT CONNECT CONNECTION CONSTRAINT CONSTRAINTS CONTINUE CONVERT CORRESPONDING COUNT CREATE CURRENT CURRENT DATE CURRENT TIME CURRENT\_TIMESTAMP CURSOR DATE

DAY DEALLOCATE DEC DECIMAL DECLARE DEFERRABLE DEFERRED DELETE DESC DESCRIBE DESCRIPTOR DIAGNOSTICS DICTIONARY DISCONNECT DISPLACEMENT DISTINCT DOMAIN DOUBLE DROP ELSE END END-EXEC **ESCAPE** EXCEPT EXCEPTION EXEC EXECUTE **EXISTS EXTERNAL** EXTRACT FALSE FETCH FIRST FLOAT FOR FOREIGN FORTRAN FOUND FROM FULL GET **GLOBAL** GO GOTO GRANT GROUP HAVING HOUR **IDENTITY IGNORE** IMMEDIATE IN

INCLUDE **INDEX INDICATOR** INITIALLY INNER INPUT **INSENSITIVE** INSERT INTEGER INTERSECT **INTERVAL** INTO IS **ISOLATION** JOINKEY LANGUAGE LAST LEFT LEVEL LIKE LOCAL LOWER MATCH MAX MIN MINUTE MODULE MONTH MUMPS NAMES NATIONAL NCHAR NEXT NONE NOT NULL NULLIF NUMERIC OCTET\_LENGTH OF OFF ON ONLY OPEN OPTION OR ORDER OUTER OUTPUT **OVERLAPS** PARTIAL PASCAL

PLI POSITION PRECISION PREPARE PRESERVE PRIMARY PRIOR PRIVILEGES PROCEDURE PUBLIC RESTRICT REVOKE RIGHT ROLLBACK ROWS SCHEMA SCROLL SECOND SECTION SELECT SEQUENCE SET SIZE SMALLINT SOME SQL **SQLCA** SQLCODE **SQLERROR** SQLSTATE **SQLWARNING** SUBSTRING SUM SYSTEM TABLE TEMPORARY THEN TIME TIMESTAMP TIMEZONE\_HOUR TIMEZONE\_MINUTE ТО TRANSACTION TRANSLATE TRANSLATION TRUE UNION UNIQUE **UNKNOWN** UPDATE UPPER USAGE USER USING VALUE

VALUES VARCHAR VARYING VIEW WHEN WHENEVER WHERE WITH WORK YEAR



Copyright 2014 Teklynx Newco SAS. All rights reserved.

www.teklynx.com | www.teklynx.eu